

News Release

2025年11月13日
福島臨海鉄道株式会社

福島臨海鉄道の旅客化検討をめぐる報道について

今般、一部報道機関より、弊社が主体的に旅客事業に参入することを検討しているという報道がなされたことから、現状について下記のとおりお知らせいたします。

記

現在、いわき市は「小名浜港周辺のエリア価値向上に向けた可能性調査事業」※を行っております。その中で、交通についても調査対象となっており、シャトルバスの活用や鉄道等の代替交通手段についても検討されているところです。

そのため、いわき市の可能性調査事業において、貨物鉄道を運行している当社についても、小名浜港地区へのスタジアム整備に伴う自家用車代替交通手段としての福島臨海鉄道の可能性調査が行われているところです。

したがって、弊社としては、いわき市が行っている調査に対して協力を行っているという状況であり、弊社が主体的に旅客化を検討している事実はない旨、お知らせいたします。

※「小名浜港周辺のエリア価値向上に向けた可能性調査事業」（いわき市ホームページより）

いわき市と双葉郡8町村をホームタウンとする「いわきFC」の本拠地となる新スタジアム建設プロジェクトは、今後、人口減少社会と向き合う地方都市にあって、地方創生の成功モデルとなり得る大きな可能性を秘めております。

エンターテインメント・カルチャー創出による若者の流出抑制や交流人口の拡大、スポーツを核とした周辺産業への波及効果による地域経済の活性化を『民間主導・行政支援』により実現を目指すものです。

新スタジアムの整備によって、道の駅に登録された「いわき・ら・ら・ミュウ」や常磐自動車道と直結する小名浜道路の開通などとの相乗効果で、当該エリアにおける来街者の増加が想定され、回遊性の向上や滞在時間の延長が期待されます。

本事業においては、この効果を市内全域へ波及させるため、当該エリアにおける課題（防災・交通）や市として担うべき役割等を整理し、課題解決に向けた調査・検討を行います。

（お問い合わせ先：福島臨海鉄道株式会社 総務課 TEL：0246-92-3230）